

**徹底取材**

コロナがもたらした見えなかったこと。そして、挑戦へ。

**兵庫のナンバーワンを獲得！**  
人気チェーン店社長が語る、この時代をどう乗り切るか



「らーめん八角」と、お好み焼きの「うまいもん横丁」をメインに  
兵庫県の西部に35店の飲食店を展開する株式会社八角。

1972年に創業、代表取締役社長・大西慎也氏の父である  
先代社長が開業した喫茶店「カサノバ」からスタートした。



困難があるたびに  
アイデアで乗り切ってきたこれまで。

喫茶店は繁盛し、居酒屋も経営するなど多店舗展開していた。播州地方では有名店だったが、バブル崩壊のあおりを受け経営不振に。次々に店を畳み、残った居酒屋の駐車場で屋台のラーメン店をはじめたのが「らーめん八角（以下、八角）」のはじまりだ。「私一人で切り盛りがしやすいようにカウンターを八角形



にしたのが「八角」という名前の由来です。地元の人たちに親しまれやすい甘い醤油ベースのラーメンが大ヒット。次々に出店し、2000年には初の大型店を出店、法人化もした。

「次は全国展開を目指し、隣県のショッピングモールに出店しましたが読みが甘く、9か月で撤退となってしまいました。それまでは父が言っていた「数字を見ない」を大西氏も通していたが、これを機に経営の勉強をし、新たに舵を切りなおした。

**コロナウイルスが新たな結束力を生むきっかけに**

手作りにこだわり、豊富なアイデアの販促で地元の人たちの心をつかみ、ローカルながら着実に店舗展開を続けてきた。しかしコロナウイルスがこの歩みにス

トップをかけたのである。「パブル崩壊や大失敗もして、リーマンショックもあり、これまでしんといことも経験してきました。いつかまた何か起こるという覚悟もあったが、ここまでのことが起こると思っていなかった。飲食店はやはりお客さんが来てこそ。一番つらかったのは時短営業だという。ランニングコストはかかっていくけど、売上はガクンと下がる。「売上や経費のデータを出してみんなに現状をわかってもらうところからはじめました。データはやはり大幅な赤字予想となる。けれど、みんなの雇用は守るし、給料も守ると宣言し、会社の現状を知ってもらい一丸となって頑張っていかなあかん」とい

とを伝えました。従業員みんなが今までのやり方でダメだと強く感じて、様々なことに取り組み、時短営業から通常営業ができるようになり、結果、赤字ではあるものの大幅な赤字というところはどこにか今のところ食い止められた。「みんなの考え方がすごく変わった」と実感しています。みんなが会社と向き合えたと、会社がみんなとも向き合えたという感じですかね。

**この状況を逆手に取り八角の新たなチャレンジが始まる**

「このまま待つていても下がっていくだけ。国から補助金200万円を頂いたけれど、当社の規模では200万円くらいではとても足りない。それなら投資しよう」と。高価だし本当に美味しいものができかわからないので購入することに躊躇していた。急速冷凍機をもらった補助金でならと購入。試してみるとお店で食べるのと同じレベルの美味しいラーメンが出来上がった。これならいける！と通信販売に参入することにした。さらに挑戦は続く。「こんな状況でもみんなに夢をもってもらいたいと思って、つけ麺店をはじめることになったんです。つけ麺は少ない人数と小さいお店でお金をかけずにはじめられるので、独立し

**従業員が向き合うことができた  
コロナをきっかけに、会社と**

HAKKAKUが経営する  
**5つの業態**

播州つけめん 八角  
2020年9月にオープンしたつけ麺・まぜそば専門店。

昭和お好み焼劇場  
うまいもん横丁  
大衆食堂 めじ炊き名人  
ぱっぱ屋

おいしい  
あーめん 八角  
浪花名物 たつの壺

いくだけ。国から補助金200万円を頂いたけれど、当社の規模では200万円くらいではとても足りない。それなら投資しよう」と。高価だし本当に美味しいものができかわからないので購入することに躊躇していた。急速冷凍機をもらった補助金でならと購入。試してみるとお店で食べるのと同じレベルの美味しいラーメンが出来上がった。これならいける！と通信販売に参入することにした。さらに挑戦は続く。「こんな状況でもみんなに夢をもってもらいたいと思って、つけ麺店をはじめることになったんです。つけ麺は少ない人数と小さいお店でお金をかけずにはじめられるので、独立し

人気の味が自宅で楽しめる **八角の通販** 検索

簡単調理で楽しめるラーメンセットは秘伝のスープ、生麺とこだわりのチャーシュー入り！急速冷凍でおいしさそのまま、自宅でお店の味を楽しめる！

**創業から二十年  
決して折れず歩みつづける。**

- 1972年5月 姫路市辻井に喫茶カサノバOPEN
- 1986年11月 姫路市四郷町に居酒屋へのものOPEN
- 2000年4月 大型店舗1号店「らーめん八角 播磨本店」OPEN
- 2000年12月 有限会社八角設立
- 2005年4月 初の食堂業態「銀シャリぱっぱ屋」OPEN
- 2007年3月 うまいもん横丁高砂店OPEN
- 2008年6月 冠が「昭和お好み焼劇場」に変更
- 2008年6月 岡山県倉敷市水島に「たつの壺」OPEN
- 2010年12月 有限会社八角が株式会社八角に移行
- 2012年9月 大西慎也常務が代表取締役に就任
- 2016年1月 ハートイン・キオスクで「らーめん八角」チャージャーおにぎり「B定食おにぎり」発売
- 2017年1月 「17年食おにぎり」発売
- 大西慎也著「手作り屋台が生んだ「やらずぎ」飲食店経営」発売
- 2019年10月 大西慎也著「諦めそうになった時に読む本 逆境でも決して折れない思考法」発売
- 2020年3月 日本マーケティングリサーチ機構の調査で「らーめん八角 うまいもん横丁」がそれそれ人気ナンバーワンを獲得

